

知事と区市町村長との意見交換（調布市）

令和1年9月20日（金）

15時30分～15時50分

○行政部長 それでは意見交換を始めさせていただきます。冒頭、知事から一言お願いいたします。

○知事 お忙しいところ、今日はありがとうございます。今日からまさしくワールドカップということでございますが、後ほど追い掛けて行きますので、調布のファンゾーンの方も楽しみにしております。

それで長期計画を策定中でございまして、ビジョンの策定から入っておりますが、調布、多摩、いろいろと今後のビジョン等について豊富にお持ちだと思います。お聞かせいただいて、そしてまた肉付け等も今後進めて参りますが、直接伺う限られた時間ではございますが、そういう機会とさせていただきます。よろしく申し上げます。

○調布市長 5分程度と伺っております。私の方から若干のプレゼンテーションをさせていただければと。

主要な項目ということで、各自治体が用意したポイントについては、既にそちらに提供させていただいていると聞いておりますので、その中は言うまでもなく4点の項目について、我々は言及をしております。

ラグビー、オリンピック等のこともございますけれども、余りそれはもう読んでいただければ分かるので深く話をするつもりはございません。ぜひ重点の中に最大公約数的に、または都庁の主眼として重なるところがあれば、採用していただければと申し上げるだけです。

私は違うような観点で、ぜひ今日は簡略にお話したいと思うのは、これからの東京の成長を考える時には多摩ではないかと思っております。23区は今の上でも順調な成長を見込めるのではないかと。ポテンシャルから言うと、多摩ではないかと思っております。

それで、多摩の振興というのは歴代の知事の皆さんが一応その重点事項としては取り上げていただいているんですけども、端的に言って、これは23区も含めてかもしれませんが、実は50万ぐらいの街に再編した方が効率は非常に良いのは、誰の目にも明らかです。

今50万以上って言ったら、多摩には八王子市しかありません。町田が40万で、あとは26万の府中で、23万7,000人のうちと、こんなことで、10万人ぐらいの街が非常に多いわけでありまして。

一挙に再編はできない。そんなものが合掌連呼一気に行くわけがない。であるとするならば、ちょっと飛躍した言い方ではありますけれども、政治主権は残したうえで産業、経済を一体化して考えるというやり方が、やはり現実的だと思います。

ちょっと飛躍しますけれども、ECの市場統合です。1992年に12か国、それから3億2,000万人の市場を作ろうとして、今、増えすぎてイギリスの問題なんか出ていますが、最初は非常にうまくいったわけです。あれがヒントになると思います。政治主権は残したうえで、

経済的には産業の活性化、一体となってやれるものだと。

それで事例にいけますけれども、我々近隣の自治体、大体同類項の自治体7つ、8つが集まって6年前から、もう7年目に入りましたけど、四半期に1回ミーティングを重ねてます。成果は出てきてます。今言った、一体となってやっ払いこうと。1番目は、このお出ししたものにも一つ触れるんですけども、激甚災害時のドローンを使った確認事項というので、一つの自治体では非常にエリアが狭過ぎる。皆でやらないかって言ったら、今この多摩川流域の自治体が全部入って、市長会で紹介したら26のうち今22、3まで広がったという事例があります。

今、それが二つ目、今やってるのは観光情報サイト。民間のものにアクセスして、この周遊性の、回遊性のあるような流れを皆でつくろうと、今一気に広がってます。来年のオリンピック、パラリンピックまでには26市全部が入るのではないかというような。これが出来ているんです。

現実の問題として今、産業振興では一つやはり目玉をつくらなければいけない。まずはこちらです。都庁にお考えくださいじゃなくて、我々が目玉を作って有効な支援をと考えていただければ。

投資・誘致のために産業情報のデータベースをつくりたいと思っています。フォーマットを統一したうえで、各自治体の売りを分かりやすく。これを26市網羅したものを全国に送りつければ、絶対に東京を橋頭堡として業績を拡大しようとしている企業は星の数ほどあるわけですから、ヒットすると思います。

まずは私共で、今その一里塚でモデルをつくらうとしてます。それをまた広げていって、その時に東京都はそういうことに意義を感じていただいて、そこから、ぜひ商工団体に対する、その我々の意向を伝えていただくとか、それから若干の予算も掛かる話でありますから、データベースについて、各複数の局が協力いただくとか。

そういうふうにも多摩を一体となって捉えたうえでの振興ということ、テーマを決めてぜひ、私共がまず考えますので応援いただきたいと、そう思っております。

○知事 はい。ありがとうございます。まさしくビジョンを今お話いただけたかと思えます。特にEC、マーストリヒト条約等々の頃ですか。いらしたのは。

○調布市長 その前からです。

○知事 その前から。

○調布市長 ええ。もう80年代です。

○知事 ええ。その御経験等から多摩をどうするのかという、大変大きなビジョンからお話いただきました。

それで具体的にいくつか始めてらっしゃる、例えば多言語観光情報サイト。これ等、それぞれの市がこの言語の数だけをやっていると、それは、リサーチする方も大変だし。

○調布市長 正直に申し上げて、やはり若干の予算でも、それを議会を通して何だかんだやっていると2、3年掛かるんですね。それは民間で利用できるものがあって、ただでやってくれるというので、うちが最初にアクセスしたんです。今広めて多摩川流域の自治体全部

やるということになってます。それを市長会を通じて、皆さんにこれからアピールをして
いって、来年のオリンピックまでに26市全部が9か国語になる、日本語を含めて。これを
全部完備したうえで外国から来られる方、来訪者も含めて、多摩を自由に歩いていただけ
るような仕掛けを。

その期間、それと並行して公共交通機関にももう頼んだんです。それを公共交通機関の
サイトでも全部アピールしてくれと。今、金融機関にも頼んで、金融機関も一部協力する
というところまでは話は来てるんです。

○知事 大変良い例を既につくっていただいております。ぜひ多摩の魅力を海外にもっと
もっと発信をして、そしてそれぞれの地域で、もう最近すごいですよね。我々が知らない
ラーメン屋さんにずらっと長い列が出来ている。やはりそれはSNSの力だというふうに思
いますから、その辺のところをうまく、多摩のポイントになる所を選択と集中でアピール
していただいて、またそれは東京都としているいろんな形でバックアップさせていただくとい
うことだと思います。

○調布市長 そうですね。今でもいろんなものが、媒体が出来ていて驚くばかりですが、
考えてみれば20年前にですよ。私は最後に駐在したのはパリだったんですけど、日本人の
若い人がやって来て、言葉はもちろん余りできないんですけども、アクセスするのにホテル
の予約を英語でもフランス語でも、日本にいる時からそれで自分でやってくるような時
代に、考えてみれば20年前になっていたんで、それに対して多摩全体も反省しなければい
けないのは、受け皿となるような仕掛けがまだ出来ていなかったですね。

ただ、今年、来年が非常に良いチャンスなもので、先ほど仰ったおいしいグルメのサイ
トも、隣の府中市と一体になったマップをつくって、お互いの利益を追求しようとか、ま
さに今マルチで、いろんな考え方で輪は広がってますから、観光情報に限らず協力してや
っていきたいと思っています。

○知事 おっしゃいましたように、産業も同様の話だと思います。いくつかの街は企業城
下町であった所が、なかなか企業の方がうまく立ち行かない。若しくは他に移転をしてし
まうといったような例があると、その後どうするかというのは、そこでまさしく知恵を絞
っていかないといけない。その知恵をそれぞれが共有しながら活かしていただくというの
は、都にとっても非常に有効かと思えます。

○調布市長 考えてみれば大工場みたいなものを、もう23区からなくなっているというふ
うに言えるかもしれません。これはもうしょうがないこと。ただ、多摩にしても今の段階
でもう失われていくばかりなんですね。もう私が例示をするまでもなく、大手の企業か
らして。

ですから、このままいってはマイナスの効果しかない。さっき言ったような仕掛けをつ
くって、今度は打って出ると。もうこちらに呼び込むと。私はソフト、ハード、いろんな
産業でかなり可能性はあると思います。だめで元々とは申しませんが、これだけの
仕掛けを簡単な産業データベース、フォーマットを統一したようなものすらなかったのが、
やはり後手に回っていたというか、意識がそれに追いついてなかった証左ではないかなと

思っています。

○知事 それと今、働き方改革というのが極めて大きなテーマになっている中で、多摩の地域というのはまさしくサテライトオフィスを確保するにはとても有効ではないかと思うんですね。生産性の向上という言葉がよく出てきますけれども、一人ひとり俺は生産性は関係ないとおっしゃるかもしれないけれども、相対としての日本経済をより活性化させていくためには、一人ひとりの能力をより有効に活かすという意味では、ただ通勤でエネルギーを使うというよりは、その時間は避けて、そして仕事をむしろサテライトオフィスでやって、その後で大手町とか、ああいった所に出ていくとか、いろいろその働き方改革による多摩の魅力を上げるという観点からも、いろんな連携若しくはしのぎ合いをされるというのは良いことだと思いますね。

○調布市長 もう全くおっしゃるとおりだと思います。今のいただいた大変素晴らしい提言に派生して言わせていただくと、さっき申し上げましたように、まだまだ東京を橋頭堡として業容を拡大しようとしている企業は全国にあると思いますけれども、東京に出て来ると言ったら、23区内が良いのか、多摩が良いのかということになると、多摩の優位性は随分あると思います。

まず地価が安い、人件費も安い。東京に来て情報を収集するには何の遜色もない。それで交通網が非常にこの2、30年で発達しましたから、今おっしゃったように時間を有意義に使える。来ていただいても、その工場を建てる土地も23区にはないとか。そのようなことを考えると、一番最初にお話したことに戻って、これからの東京のGDPを押し上げていくには、やはりこれからは、まあ未開と言う言い過ぎかもしれないけど、多摩を有用に使うということが極めて、私は重要ではないかなと思っています。

○知事 ありがとうございます。副知事、何かありますか。

○副知事 もう知事の申し上げたとおりでございますけれども、交通、廃棄物処理、観光振興、防災。あらゆる行政分野で共同対応、広域的対応をした方が効率的な行政分野、多々あると思いますので、そういった市町村の連携について、東京都としても全力でご協力や対応をしていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○調布市長 私が一人申し上げただけではなくて、さっき申し上げているように、年間何回も近隣の自治体で集まって、和やかな中にいろんな話をしておりますから、私一人の思いではなくて、まさに能動的に動き出そうとしているということをご理解いただければと思います。

○知事 ありがとうございます。今日の明確なビジョン、方向性等をしっかりと受け止めさせていただきまして、長期戦略に盛り込ませていただくようにいたします。個々のいろいろなご要望等も、今日のトゥデイズメニューの中に入っているかと思っておりますけれども、ご用件につきましても精査させていただきます。

○行政部長 本日はどうもありがとうございました。これで意見交換を終わらせていただきます。ありがとうございました。